



PROFILE

海外での映像関係の仕事を経て、帰国とともに水の譚に勤務。支笏湖在住11年。

支笏湖では、子どもたち一人一人の距離が近く、兄弟のように接します。親同士の交流も多く、子どもが中学校に進んでからは部活の送迎を協力し合ったりして、そこで絆も生まれます。

支笏湖で暮らしたいには買い物や病院、子どもの習い事など、不便な面は確かにあります。しかし私は、それでもこの地域で子どもを育てたい思いが強くあります。大自然の中、少人数で和気あいあいと地域ぐるみで子どもたちを育てていく。やがて子どもたちが大きくなったとき、彼らが「支笏湖に住んでよかった」「支笏湖に住んでよかった」と、またここに戻ってきたら嬉しいですね。

それでも、この地域で子どもを育てたい
しこつ湖 鶴雅リゾートスバ水の譚
副支配人 関口功二さん
で、人に来てもらわなければ、その自然の良さや大切さが伝わらない部分もあります。この両立をしっかりとやって、自然を残しつつたくさんの人に支笏湖を知ってもらいたい。それがこの地域の共通認識だと考えています。

それでも、この地域で子どもを育てたい

しこつ湖 鶴雅リゾートスバ水の譚
副支配人 関口功二さん



enjoy!

私の支笏湖ライフ

朝起きると静かな湖面が目の前に広がり、森に囲まれた住居では、野鳥のさえずりがBGMのようにこだまする。家も職場も大自然のど真ん中。支笏湖では、そんな生活が味わえます。

Zoom Up

大自然で暮らす
ライフスタイル、
憧れませんか？



あなたの支笏湖ライフ
応援します！

市営住宅湖畔団地1号棟に住んでみませんか

収入基準を緩和

支笏湖地区などに住みたい方向けに、湖畔団地1号棟の一部の部屋を「みなし特定公共賃貸住宅」、「支笏湖子育て住宅」に指定し、入居要件である収入基準を緩和しました。



通常の市営住宅	みなし特定公共賃貸住宅 支笏湖子育て住宅
---------	-------------------------

政令月収※が 158,000円以下	政令月収が 158,001円～487,000円
----------------------	----------------------------

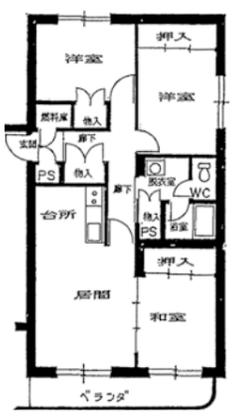
※入居者全員の収入から所得を計算し、控除を行った額を月額に換算したものです。

その他の要件について

- 支笏湖子育て住宅は…
- 同居者に小学生以下の子どもがいること
 - ※入居可能期間は、同居する最年少の子どもが中学校を卒業する年度末までです。
- 上記の要件、収入基準以外の入居資格は、通常の市営住宅と同じです。
- 「市内居住」または「市内勤務」(予定含む)
 - 「国税および地方税を滞納していない」など

入居者の募集は、8月以降を予定しています。詳細は広報ちとせ8月号をご覧ください。

【詳細】市営住宅課 ☎24-0427



間取り例(3LDK) 支笏湖子育て住宅



大自然に囲まれた学びのフィールド
支笏湖小学校

令和7年度の児童数は9人。少人数ならではの絆の深まりと、自然に囲まれた環境での授業が特徴です。



「2000年に、映画監督の崔洋一さんが支笏湖に来て、子どもたちと一緒に“支笏湖の宝物”という手づくり映画を制作しました。映画の最後に、子どもが『お母さんの宝物は何？』と問い、お母さんは『あなただよ』と返すシーンがあります。支笏湖で暮らす子どもたちには、ここで色々なものに触れて、自分の宝物が何なのかを自分なりに見つけてもらいたいです」

支笏湖小学校 教諭 溪口 正裕 さん



支笏湖小学校1年 関口直花さん
得意科目：図工
「最近作った折り紙の動物が、とっても上手にできました！」

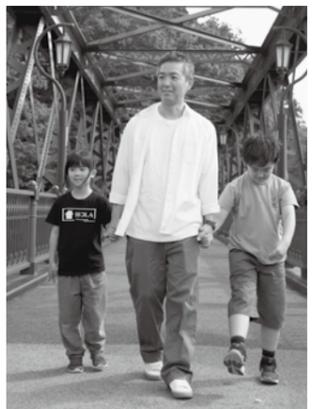
取材にご協力
いただいた
関口家の皆さん



関口功二さん
家族と支笏湖を
愛するお父さん



支笏湖小学校4年 関口陽太さん
得意科目：算数、英語
「記憶力に自信あり！
円周率小数点以下26ケタ、
山手線全駅言えます」



支笏湖は、千歳が誇る観光スポットです。雄大な自然を背景に温泉やアクティビティ、グルメが楽しめる。夏には湖水まつり、冬には氷まつりと、四季折々のイベントが訪れる人々の心を豊かにしてくれます。では、そんな支笏湖の観光を支える人々は、どんな暮らしを送っているのでしょうか。今回の記事では、支笏湖に住み、支笏湖を愛するご家族に話を聞きました。

支笏湖は、千歳が誇る観光スポットです。観光業に携わるお父さんと、その子どもたちの姿を描きます。たくさん観光客を迎え、忙しい毎日。けれども、森と水に囲まれた地域の人々と交流し、子どもたちの成長を見守りながら過ごす日々は、どこか心穏やかです。支笏湖ライフは、街なかでは味わえない新しい発見であふれています。

街なかでは味わえない
新しい発見に満ちた毎日